

帝京大学医学部附属病院 帝京がんセンター がん相談支援室だより

No.14

2019年 1月 1日 がん相談支援室発行

がん口コモってなあに？

「がん口コモ」とは、がん自体あるいは「がん」の治療によって、骨・間接・筋肉・神経などの運動器の障害が起きて移動機能が低下した状態です。進行すると、日常生活が不自由になり、介護が必要になるリスクが高まります。

どうして「がん口コモ」になるの？

がんによる運動器の問題

「がん」が骨にできて(主に骨転移)痛みや骨折、麻痺を生じます。

がんの治療による運動器の障害

- ・抗がん剤の副作用による神経の症状
- ・手術や放射線治療による運動器の障害
- ・長期間の治療と安静による筋力低下



がん患者さんにも運動器の病気が隠れていることがあります。

痛みがあっても「がん」だからとあきらめずに一度、整形外科に相談してみてください！

詳しくは、下記の次回がん情報サロンでお話いたします！

帝京大学病院 がん情報サロン 次回の開催予定 2月14日(木) 15:00～

テーマ：**がん口コモのお話**

場所：帝京大学病院内 1階 集団指導室(ドトールコーヒー横)

がん相談支援室では、いつでもがんに関するご相談をお受けしています。

ご相談受付

相談時間

月～金 9:00～16:00
(祝・年末年始・創立記念日を除く)

相談方法

面談・電話

電話

03-3964-3956
(直通)

1階 ⑭入退院センター
帝京がんセンター
がん相談支援室
(がん相談支援センター)



ご相談は無料です。 ※院外の方も相談できます。

🌙 夜間もお電話でご相談をお受けしています

月・金のみ 17:00～21:00

TEL 03-3964-1211(代表)

